

6月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

96,762円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松用紙代)	18,354円
交通費(駐車場、燃料代)	11,929円
通信費(折込代、携帯電話代)	66,479円
支出計 26/6/1～26/6/30	96,762円
収入 政務活動費	65,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
26/7/1

第236号

20500部発行

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

新しい学校づくり推進基本計画

答申 小学校25校・中学校11校を 小中一貫校12校へ

答申案の概要を示します。(作成：武松)

■背景と経緯

小田原市教育委員会では、**児童生徒数の減少や学校施設の老朽化、多様化する学びのニーズ**など、学校を取り巻く環境の大きな変化に対応するため、「新しい学校づくり推進事業」を進めています。この取組は、2020年12月に策定した「小田原市学校施設中長期整備計画」を踏まえ、10年後を見据えた学校の姿や施設整備、学校配置の方向性を具体化するものです。なお、近年の建設事業費の高騰は、施設整備や学校配置の計画策定に大きな影響を与えています。

このうち「新しい学校づくり推進基本計画」については、学識経験者、地域住民、保護者、学校関係者などで構成する**小田原市新しい学校づくり検討委員会**において審議が行われました。2025年6月30日に教育委員会から諮問し、検討委員会での協議を経て、2026年3月30日に答申が教育長へ提出されました。

■基本計画の概要

基本計画では、未来を担う子供たち一人ひとりの学びと育ちを支える教育環境を実現するため、地域ごとの学校配置の将来像を示しています。本市が大切にしている教育の柱は、多様な人との関わりの中で、自分や他者を認め合い、幸せな社会を共に創っていく力である「社会力」を育むことです。新しい学校は、この「社会力」を育てる「みんなの学びの場」として位置付けられています。

具体的な取り組み

単に建物を新しくするだけでなく、時代に合った形へ再設計します。

- ・小中一貫教育の導入 ・学校規模の適正化
- ・学校と地域が連携して子供たちを支える体制づくり
- ・未来の学びにふさわしい学校施設の整備

学校配置案の検討

市内を4つの地域(中央・片浦、富水・桜井、川

東、橘)に分け、12箇所24校の配置案を検討しました。検討にあたっては、適切な学校規模の確保、災害ハザードの解消、小中一貫教育の導入、通学距離・時間、通学区域と自治会区域との整合などを前提条件としています。

財政面への効果(見込み)

すべて維持する場合(36校)

改築や長寿命化改修に約2587億円

小中一貫へ整備する場合(12校)

24年間の施設整備費は約1146億円

※学校施設の集約により固定費を抑え、その余力を教育の質の向上へ再配分することを目指します。

今後は、答申の内容を踏まえながら、子供たちにとってより良い教育環境を実現するとともに、地域にとっても身近で開かれた学校となるよう、**丁寧に検討**を進めていきます。学校づくりが将来の小田原を支える重要な取り組みであることをご理解いただきたいと思います。

■スケジュール

事業の周知・計画の取りまとめ

2026年6月～11月

基本計画の成案化に向けた検討

2026年8月～11月

市民等への説明を実施

2026年12月：**成案化**

2027年2月～3月：シンポジウム開催

2027年3月～4月：パブコメ募集

2027年5月：**計画決定**

庁内検討 ※検討内容は裏面に掲載

2026年6月：庁内検討組織立ち上げ

2026年6月～11月

基本的な方針の庁内検討

小中一貫方針

2026年6月～11月

骨子案の作成と調整

2027年3月～4月：パブコメ募集

庁内検討体制と学校配置案

■庁内検討体制について

答申を受け、学校配置の見直しに伴い、跡地活用をはじめ、避難所や地域 コミュニティ機能の方向性も含めた検討・調整が必要となるため、庁内検討組織を立ち上げる。

【構成】8部15課（現時点見込み）

【主な検討事項】

- ・市総合計画との整合
- ・中長期的な財政フレームの整理
- ・跡地活用

- ・公共施設の管理運営
- ・地域コミュニティ機能等の整理
- ・避難所機能等の整理
- ・社会教育開放
- ・建物の環境配慮
- ・再編地域のまちづくり
- ・周辺のインフラ整備等との調整
- ・整備手法
- ・通学路整備
- など

■学校配置案の概要

表1に答申で示された新しい学校の設置個所と学区の考え方を示します。表には、設置場所、再編後の学区、整備予定期間と整備方法をまとめています。

表1 新しい学校の設置個所と学区の考え方

地域	再編後の学校	設置場所	再編後の学区 (自治会区域(連合)と整合)	整備予定期間	整備方法
中央・片浦	小中一貫校①	城山中	緑 幸 十字 万年 芦子 片浦	2039～2044	改築
	小中一貫校②	大窪小	大窪 早川	2027～2031	長寿命化改修
	小中一貫校③	町田小	新玉 足柄 山王網一色	2033～2038	改築
	小中一貫校④	白山中	二川 久野	1期 2027～2032 2期 2037～2040	1期は中学校改築 2期は小学校増築
桜井・富水	小中一貫校⑤	泉中	富水 東富水	1期 2029～2034 2期 2037～2040	1期は中学校改築 2期は小学校増築
	小中一貫校⑥	報徳小	桜井	2033～2038	改築／改築前に桜井小に移転・統合
川東	小中一貫校⑦	千代中	上府中 下曾我 曾我	2035～2040	改築
	小中一貫校⑧	豊川小	豊川	2027～2031	長寿命化改修
	小中一貫校⑨	鴨宮中	下府中	2029～2034	改築
	小中一貫校⑩	国府津小	国府津	2039～2044	改築
	小中一貫校⑪	富士見小	酒匂・小八幡 富士見	2031～2035	長寿命化改修
橘	小中一貫校⑫	下中小	前羽 下中	2031～2035	長寿命化改修

※再編後の学校(小中一貫校)は設置場所にそれぞれ整備します。

※学校(小中一貫校)の設置の予定のない場所:三の丸小 芦子小 片浦小 早川小 城南中 新玉小 山王小 白鷗中 足柄小 久野小 富水小 東富水小 桜井小 城北中 千代小 下曾我小 曾我小 矢作小 下府中小 国府津中 酒匂小 酒匂中 前羽小 橘中

■お知らせ■

7月の議会報告会 新しい学校づくり推進基本計画(答申)について
7月25日(土) 18:00～19:50 UMECO会議室9 会費：無料



公式HP
月刊武松パナパニ他



X(twitter)
防災・感染症情報



facebook
日々の情報など



新しい学校づくり
推進基本計画(答申)

